

農業集落排水事業岡南(こうなん)南部浄化センターの被害

調査日：平成16年11月23日(火)

班：上下水道・廃棄物班

分類別：被災状況、復旧・復興状況

キーワード別：上・下水道

調査結果

岡南(こうなん)南部浄化センターは、長岡市の南端部、六日町地区にある農業集落排水事業に基づく生活排水処理施設で、処理人口は3,600人(長岡市HP)である。

地震による処理施設本体の被害は軽微であったが(写真1~4)、国道17号線と信越線をまたいだ山谷沢小学校付近の小道では、マンホール浮上、埋設管埋め戻し部の沈降、下水流下の阻害が顕著に生じた。

訪問時は地震後1カ月を経っていたため、浮上したマンホールを元の位置に収め、埋め戻し部の沈降をアスファルトで補ったところ(写真5)も見られたが、マンホール部と管路部を応急簡易舗装し、下水の流れない部分では、マンホールに水中ポンプを挿入し(写真6)、次の下流側のマンホールまで導いて排出していた(写真7)。

この地域は地震時の揺れが大きく、倒壊したままの墓石・家屋が転々と残されていた(写真8・9)。



写真1



写真2 写真1の赤丸部分を拡大



写真3 建物裾部に以前の地表位置が残る



写真4



写真5



写真6 水中ポンプが投込まれたマンホール。
下水は汲み上げられ、道路側溝を経て、
下流マンホールに導かれていた。



写真7 図6よりもたらされた下水。
右手にあるマンホール(写真にない)に
排出される。



写真8



写真9